

2017年11月14日

報道関係各位

 一般社団法人日本能率協会
 産業振興センター

アグリとフードからはじまるビジネスイノベーション
**『北海道アグリ・フードプロジェクト
 イベント&カンファレンス』**

ICT やデータセンシング、ドローンなど次世代農業技術が集結！

＜11月22日(水)・23日(木) アクセスサッポロ＞

今年初となる、「農」と「食」が集結する年に一度のビッグイベント「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス」が、いよいよ11月22日(水)・23日(木・祝)の2日間、アクセスサッポロ(札幌市白石区)で開催されます。

商談・販売・体験を目的とした“イベント”と、農業経営者向けの学習の機会となる“カンファレンス”の同時開催となりますが、展示会場には国内外から112社、138ブースが出席。中でも注目は、「ICT」「GAP取得」「データセンシング」「ドローン」など、農業の現場が抱える人手不足や低い収益性といった課題を解決する、次世代の最新技術が多く展示・紹介されているゾーンです。

また、同様に次世代農業をテーマにしたセミナーも複数開催し、ここでしか聴けない貴重な情報を収集できるまたとない機会となっています。

入場は無料。ホームページにてセミナーの聴講や来場登録を受付中です。

◆Pick up 製品のご紹介！




培ってきた通信技術を活かし

農業の課題を解決

NTTドコモ(ブース:農-23)は、水田やハウス栽培、露地野菜、果樹向けのセンサーや、畜産ソリューションの牛の分娩監視、発情検知のシステムといった農業ICTソリューションを紹介する。



データ管理による見える化、効率化で

生産者の負担を大幅軽減

イーサポートリンク(ブース:農-22)は、生産者1名から生産団体まで幅広く利用している栽培履歴記帳システムの新機能「防除日誌作成支援ツール」や、「GAP取得支援サービス」を展示する。



スマホ 1 台であらゆるデータを管理し

最大限の収量を獲得

TOMTEN(ブース：農-67)は、高い精度の天気予報と灌漑管理、病原菌のライフサイクルモデルを用いて病害予察をスマホで管理するファームインテリジェンスシステムを紹介する。



北海道の一次産業を支える JA グループ

ホクレンが推奨する次世代技術

ホクレン(ブース：農-61)は、RTK-GPS トラクター内の動画、ドローンセンシングの取り組みやドローン農薬散布オペレータ養成講習を紹介する。また、低コスト型 RTK-GPS 基地局、ドローン実機の展示、農作業安全啓発活動、アシストスーツ試着体験も行う。

◆Pick up セミナーのご紹介！※敬称略



【11月22日(水) 13:30~14:30】

今話題の経営者が先進技術を語る！

「ファームノートの挑戦

Internet of Animals で切り拓くこれからの農業」

ファームノート ホールディングス 代表取締役 小林 晋也

【11月23日(木) 13:30~14:30】

北海道から発信！世界中が待望のスマートアグリ

「北海道におけるスマートアグリ事業」 Jファーム 顧問 木村 康一



◆開催概要 <http://www.jma.or.jp/hafp/>

展示会名：北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス

開催期間：2017年11月22日(水)・23日(木・祝) 10:00~17:00

会場：アクセスサッポロ(札幌市・白石区)

主催：一般社団法人日本能率協会

企画主体：北海道アグリ・フードプロジェクト実行委員会

(JAグループ北海道、北海道大学、北海道二十一世紀総合研究所、日本能率協会コンサルティング、日本能率協会)

出展規模：112社/138ブース(2017年11月15日現在)

【本件に関するお問い合わせ先】 北海道アグリ・フードプロジェクト事務局(担当：田中)

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター内 TEL: 03-3434-1988

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階

※取材のお問合せは、広報室(TEL: 03-3434-8620、担当：斎藤)へお願いいたします。